

熊野古道 そこは祈りの道。

人々が古くから願いや救いを求めた

険しくも壮大な自然。

木々や岩、水の流れにさえも神々が宿る聖地。

大自然の生命を感じます。

5 ちょう はねいわ 蝶の羽根岩



車 40分 P有 距 19km

清流・尾川川の川床には、六角形の柱を縦に積み重ねたような柱状節理といわれる自然の割れ目が発達しています。柱状節理の風化現象でできた独特の模様は上から見ると蝶が羽を広げているように見えます。

6 まるやませんまいだ おおいし 丸山千枚田と大石



車 37分 P有 距 21km

人が作り上げた棚田が自然と調和した類い稀なる風景を造り出し、美しさと感動を与えてくれます。また、中腹にある大石は、幾千年にも過ぎ行く時を見守り続けてきた千枚田のシンボリックな存在です。

7 あらたき めのびき たき 荒滝と布引の滝



荒滝

布引の滝

荒滝は、その名の通り荒々しく男性的な直瀑の滝です。上流の布引の滝とともに修験者の行場であったと言われていました。布引の滝は、4段からなり、滝壺に優美で気品のある流れを落としており、下流の荒滝とは対照的に女性的で、女滝とも言われています。周囲の天然林を「きらずの森」として条例を制定し、保護しています。

車 80分 距 34km

●レンタサイクル

【料 金】

電動自転車 3時間500円(1日最大1,000円)

【貸出・返却場所】

市街地エリア

- ◆熊野市 観光案内所(熊野市駅前)
- ◆熊野古道おもてなし館
- ◆道の駅熊野・花の窟(お綱茶屋)
- ◆世界遺産熊野古道館
- ◆鬼ヶ城センター

紀和町エリア

- ◆道の駅熊野・板屋九郎兵衛の里
- ※返却場所により、利用時間が異なります。詳しくは以下までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

市街地エリア

熊野市観光公社
TEL:0597-89-2229



紀和町エリア

道の駅・板屋
九郎兵衛の里
TEL:0597-97-0968



●市街地周遊バス

【運行日】 土日祝日:1日7便

【運賃】 1日乗り放題:お1人様 200円

【バス停】

鬼ヶ城・熊野古道おもてなし館・花の窟・産田神社・山崎運動公園・熊野倶楽部(金山パイロット)・熊野市駅前・記念通り商店街・世界遺産熊野古道館・熊野古道松本峠

※乗車券をバス停近くのお店で見せいただく特典が受けられます。

【お問い合わせ】

熊野第一交通(株) TEL 0597-85-2155



●観光タクシー

【料 金】

1~3時間コース 5,000円~15,000円

タクシー乗務員のガイドを聞きながら観光名所をめぐるります。

※予約制になります(当日も可)。料金は1台あたりの金額となります。
中型車1台当たり、4~5名様までご利用できます。

【お問い合わせ】

熊野市観光公社
TEL:0597-89-2229

熊野市観光協会
TEL:0597-89-0100



■ Googleマップで見る

くまづぶのスポットをGoogleマップで確認することができます。



熊野市商工・観光スポーツ課

〒519-4392 熊野市井戸町796

TEL:0597-89-4111

<https://www.city.kumano.lg.jp>

2025.02改定



めぐりあい、
めぐり歩き、
くまの旅。



熊野
古代信仰と
大自然めぐり
巨木・巨岩・大滝



熊野市文化財専門委員 花尻 薫氏・三石 学氏 監修

1 おおまじんじゃ きよたき せんねんすぎ おおすぎ 大馬神社の清滝と千年杉の大杉



社殿の背後は「清滝」と呼ばれる滝に囲まれているため湿度が高く、熊野地方の山間部と海岸部の植物が1か所に混生している貴重な神社林です。境内最大のスギは樹高45mで、社叢として「みえの樹木百選」に選ばれています。



車 12分 P有 歩 5分
距 6.8km



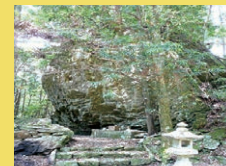
2 おおにくら 大丹倉



車 50分 P有 歩 10分 距 20km

表丹倉と裏丹倉を含む山塊の総称で、高さ300mもの火成岩で形成された巨岩は、岩に含まれる鉄分が酸化し、所々に赤みを帯びて見えます。また、古来より修験者たちの聖地であったと言われていています。

3 あかくらじんじゃ 丹倉神社



車 40分 P有 距 17km

高さ10mはあろうかという球状の岩が鎮座し、岩と樹木が同化しているのが分かります。社殿はなく、祭神も不詳。原始の山岳信仰を受け継ぐ修験者たちの修行の場であり、巨岩に神を感じる自然信仰の原点とも言われる場所です。

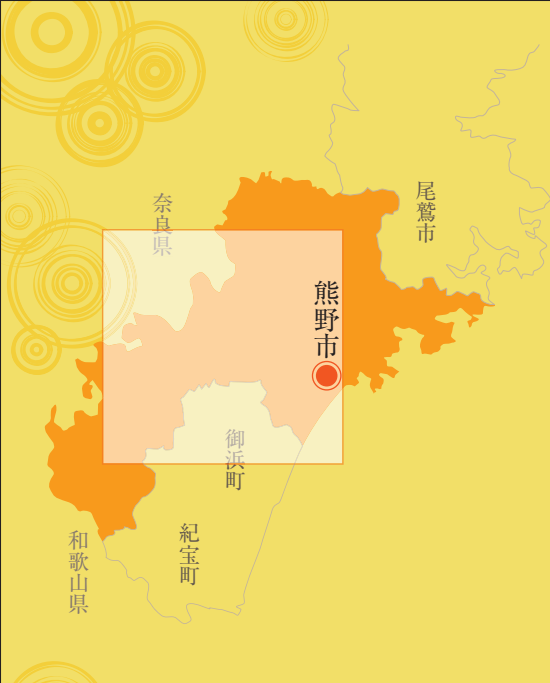
4 はな いわや 花の窟



車 3分 P有 距 1.6km

高さ45mの巨岩そのものがご神体で、神々の母であるイザナミノミコトの御陵と言われていています。その対面の岩場には火の神・カグツチノミコトが祀られており、太古の自然崇拝である「磐座(イワクラ)信仰」の遺風を示しています。

時間、距離は熊野市駅からの片道になります。徒歩は駐車場からの時間です。



熊野 古代言仰と 大自然めぐり

くまづぶ

くまづぶ
くまづぶ
くまづぶ



【熊野地鶏】
有名料理人や食通をうならせるプリプリとした弾力と、複雑の旨味を堪能できます。市内の取扱飲食店でも味わえます。

周辺散策INDEX

神川の桜

七色ダムから毎年4月に行われる桜祭り会場周辺にかけて、ソメイヨシノを主として約1,500本もの桜が開花します。周辺には吉野熊野国立公園に指定された七色峡や、七色ダムを一望できる七色峡園地があります。



ツェノ峰ビューポイント

舗装されていない林道※を登っていくと、標高495mからの絶景が待っています。秋の早朝には神秘的で神々しい雲海が見えることもあり、パラグライダーの離発場として利用されていました。



※足場が悪い箇所が多いため、車での通行はご注意ください。

雨滝とガンガラ滝

携帯電話の電波も入らない、熊野の原郷を感じさせてくれる育生町赤倉には、滝つぼが美しいガンガラ滝と、アメノウオ(アマゴ)伝説が伝わる雨滝があり、トレッキングをしながら美しい森や水を楽しむことができます。



【めはり寿司】
熊野の郷土料理で、食べる時に目を見ひらくほど大きく、おいしいことから名前になったと言われています。



【さんま寿司】
熊野市祭祥の郷土料理で、祝事などで食されてきました。味付けは店によって違いがあり、食べ比べを楽しむのもおススメです。



【新姫】にひめ
熊野市で見られた小ぶりの柑橘で、取やかな香りとキリリとした苦味で、様々な食材に彩りを加えてくれます。

